

一筆啓上
作左通信

第五十二号

平成二十三年六月十二日

作左の会 研修の旅。

平成二十三年六月一日(水)

「一筆啓上作左の会」主催で大
型バスを借り、徳川美術館・徳
川園と清州城・江と三英傑 絆
の館を見学しました。

当日の参加者は四十人、小雨が
降る天気でしたが、徳川美術館
へ向かうバスの中で横山茂様か
ら徳川家における本多作左衛門
の役割等のお話をわかりやすく
聞くことが出来ました。

徳川美術館につくと開館まで
十五分ほど時間がありました。が
天候の都合で美術館を先に見学
し、見学が終わったひとから

随時徳川園を見学して頂きました

徳川美術館では武家のシンボル
武具・刀剣をはじめ、茶の湯・能
・奥道具など、尾張徳川家に伝え
られた数々の大名道具がそっくり
展示され、当時の大名の生活と文
化を髣髴とさせました。

また特別展示品では徳川美術館の
名陶で楽しむ「やきものの色とか
たち」と銘うつて徳川美術館の
所蔵品を中心に中国陶磁器、朝鮮
陶磁器、瀬戸・美濃の陶磁器が
展示されていきました。

徳川園は海に見立てた水面の周
りに見どころを配する池泉回遊式

庭園で、池の周りに溪谷美・檜作り
の橋・茶室・牡丹や菖蒲の花畑があり
ます。

昼食はウエスティンナゴヤキャスル
ホテルで、バイキング方式で取りまし
た。スイーツが豊富で女性好みの昼食
でした。

清州城は室町時代応永十二(千四百五)
年に、尾張の国の守護斯波義重が守護
所であった下津城(稲沢市)の別邸と
し建てられたのが始まりで、移転した
ため、清州が尾張の中心地になった
といわれます。

織田信長が那古野城から移り尾張を
統一、桶狭間の戦いの後天下統一の
足場とした城です。

現在の清州城は平成元年に天守閣・芸
能文化館・五条川にかかる大手橋と共
に地域のシンボルとなっています。

江と三英傑 絆の館は、清州城の広
場の一角に建てられ、江に影響を与え
た、お市に方・三英傑を始めとする武
将、姫たちを紹介していました。

(文責 蜂須賀長治)



徳川美術館



清州城